

AKTA pure 25 で逆相クロマトグラフィーを行う場合

AKTA pure 25 で逆相クロマトグラフィーを行う場合は、配管の変更及びミキサーの O リングの交換が必要です。逆相クロマトグラフィーのような有機溶媒を使う場合は、アウトレットバルブまたはフラクシオンコレクター F9R（オプション）でフラクシオン回収してください。フラクシオンコレクター F9C では有機溶媒の使用はできません。

・ミキサー内部の O リングの交換

準備するもの

- ・ O リング 13.1 x 1.6mm high resistant (product code 29011326)
ミキサーチャンバー 0.6、1.4、5mL 用

1. ミキサー上部を緩めます。
2. ミキサー上部のキャップを外します。



3. ミキサー上部のキャップから O リングを外します。



4. キャップを外し、内部の O リングを外します。



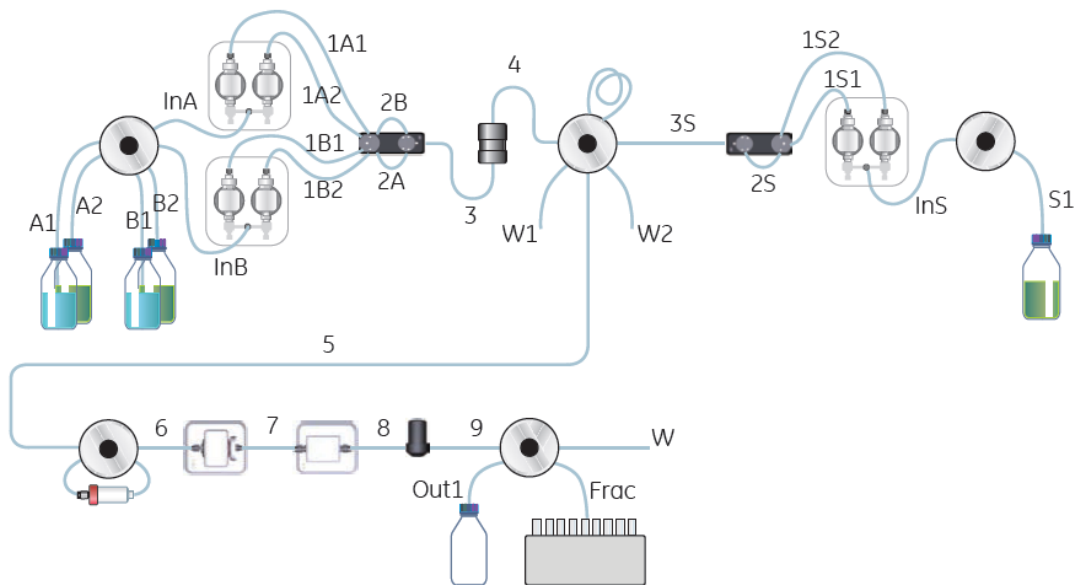
5. O リング（high resistant）を 20%エタノールで湿らせ、O リングをはめます。インラインフィルターがついているか確認してください。
6. ミキサーを元通り組み立てます。

・配管の交換

準備するもの

PEEK tubing (o.d. 1/16", i.d. 0.5 mm, 2 m) (オレンジ) (product code 18111368)

1A1,1A2,2A, 1B1,1B2,2B の配管を内径 0.75 mm の緑のチューブから内径 0.5 mm のオレンジのチューブに変更してください。AKTA pure25 のシステム耐圧を 10 MPa に変更してください。



ラベル	箇所	チュービング	長さ (mm)
1A1	システムポンプ A 左出口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	340
1A2	システムポンプ A 右出口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	340
2A	圧力モニター入口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	115
1B1	システムポンプ B 左出口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	340
1B2	システムポンプ B 右出口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	340
2B	圧力モニター入口	PEEK, o.d. 1/16" , i.d. 0.5 mm	115